

令和 7 年 度

青少年相談センター屋上防水改修修繕

設計書

相模原市

部 長	課 長	総括主幹	総括副主幹	検 算	検 算	担 当		
令和 7 年度 青少年相談センター屋上防水改修修繕 設計書								
修繕価格								
消費税及び地方税相当額								
修繕費								
施設箇所名		相模原市立青少年相談センター						
所在地		相模原市中央区中央3丁目13番13号						
修 繕 概 要	青少年相談センターにおける屋上防水改修修繕一式 構造・規模：鉄筋コンクリート造・地上 2 階建て 敷地面積：1,914.37m ² 延床面積：1,563.3m ² 工事概要 1) 直接仮設 2) 防水工事 3) 発生材処理							
起 工 理 由					本修繕監督員及び材料検査は 下記の者に定める			課 長
着手年月日		年 月 日		完成年月日		年 月 日		
執行方法		指名競争入札		一般競争入札		随意契約		

[illegible]

防水改修		防水工事		新設		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
施工数量調査	平場防水劣化部	463	m ²			
清掃	既存防水存置部 324m ² 程度	1	式			
清掃・ケレン	既存防水撤去部 202m ² 程度	1	式			
下地調整	既存防水撤去部(平場・ドレン周り・底先端部・笠木周り・架台周り) 既存シート防水切断部金物押え共	1	式			
仮防水	既存防水撤去部(平場・ドレン周り) 145m ² 程度 厚さ:1.5~2.0mm ダブルテックスNEO同等	1	式			
平場ウレタン防水	特定化学物質無配合1成分型ウレタン塗膜防水、ZHEK-200工法同等	463	m ²			
ドレン周りウレタン防水	特定化学物質無配合1成分型ウレタン塗膜防水、ZHEK-200工法同等 塩ビ鋼板新設共	6.1	m ²			
底先端部・笠木周りウレタン防水	特定化学物質無配合1成分型ウレタン塗膜防水、ZHEK-200工法同等	49.2	m ²			
シートジョイント補強処理	100mm幅補強塗り	518	m			
エキスパン笠木再取付	アルミ W = 250	25.6	m			
改修用ドレイン	ストレーナー共	4	か所			
架台	特定化学物質無配合1成分型ウレタン塗膜防水、ZHEK-200工法同等	1	式			
架台	特定化学物質無配合1成分型ウレタン塗膜防水、ZHEK-200工法同等	1	式			
架台	特定化学物質無配合1成分型ウレタン塗膜防水、ZHEK-200工法同等	1	式			
架台	特定化学物質無配合1成分型ウレタン塗膜防水、ZHEK-200工法同等	1	式			
計						

[illegible]

工事費積算参考資料

本資料は、入札参加者の適切な積算に資するため、市が用いた積算資料を参考として掲示するものであり、契約の履行を拘束するものではありません。

工事名	青少年相談センター屋上防水改修修繕
-----	-------------------

上記工事に用いた積算基準（☒の付いたものを適用）

積算基準等	相模原市建築工事積算基準（令和 7 年 1 0 月版）
	相模原市建築工事共通費積算基準（令和 7 年 1 0 月版）
	相模原市建築工事標準単価積算基準（令和 7 年 1 0 月版）
	相模原市建築工事積算基準等資料（令和 7 年 1 0 月版）
共通単価の分類	<input type="checkbox"/> 新営・全館無人改修単価
	<input type="checkbox"/> 執務並行改修単価
単価等	<input type="checkbox"/> 資材単価（令和 7 年 11 月号） ※（一財）建設物価調査会及び（一財）経済調査会から市販されている「月刊建設物価」及び「月刊積算資料」の価格による。
	<input type="checkbox"/> 市場単価（令和 7 年秋号） ※（一財）建設物価調査会及び（一財）経済調査会から市販されている「建設コスト情報」及び「建築施工単価」の価格による。
	<input type="checkbox"/> 労務単価（公共工事設計労務単価表による） ※国土交通省のホームページで公表
	<input checked="" type="checkbox"/> 上記以外（全ての単価を見積価格等による場合）

相模原市環境方針

本市は、「相模原市環境基本条例」の基本理念に則り、望ましい環境像「人と自然が共生するまち～市民と築く、地域循環共生都市さがみはら～」を実現するため、事務事業の実施に当たり、以下のとおり、取組目標を設定し、継続的改善を推進します。

- 1 「相模原市環境基本計画」に基づき、環境関連施策を推進し、事務事業の実施に伴う環境負荷の低減を図ります。
- 2 地球温暖化対策や循環型社会の形成などを推進するため、再生可能エネルギー等利用設備の導入、省エネルギー機器の導入、公用車適正利用の推進、ごみの減量化・資源化の推進、資源・エネルギーの有効活用に取り組みます。

令和2年4月1日

相模原市長

【相模原市環境基本条例 基本理念】

- 1 環境の保全及び創造は、市民が健康で安全かつ文化的な生活を営むことのできる自然と調和の取れた豊かな環境を確保し、及び向上させ、並びに将来の世代へ継承していくことを目的として行うものとする。
- 2 環境の保全及び創造は、環境に関する資源の有限性を認識するとともに、その適正な管理及び利用を図り、もって環境への負荷の少ない持続的な発展が可能な社会を構築することを目的として行うものとする。
- 3 環境の保全及び創造は、市、事業者及び市民相互の協力の下に行うものとする。
- 4 地球環境保全は、人類共通の課題であるとともに市民の健康で安全かつ文化的な生活を将来にわたって確保する上で極めて重要であることから、積極的に推進するものとする。